

## 11月の大私教「組合の学校」

# 平和と民主主義を追い求めて～従軍、投獄、組合結成

11月4日(月)午後1時30分より

たかつガーデン 8階たかつ西（近鉄「上本町」下車 徒歩3分）

## おはなし 小畑哲雄さん（大私教初代委員長）

10月1日、石破茂氏が第102代内閣総理大臣に就任しました。長期間に及ぶ「自民党総裁選レース」で、メディアジャックし、9人の中では「比較的マシ」かに思われた石破茂氏は、総裁就任直後に「予算委員会抜きで、早期の解散で国民の信を問う」と、それまでの自身の主張をひっくり返して「裏金疑惑隠し解散」の暴挙に出ました。選択的夫婦別姓にも背を向け「岸田政権を継承」とまで述べています。

また米兵による少女暴行事件で注目されている日米安保条約の地位協定改定に関しても、「自衛隊を本国にある米軍基地に派兵し、一層の日米関係強化」などと、国民世論の願いをねじ曲げ、一層の軍事大国化に道を開く危険極まりない石破政権に怒りは高まる一方です。

来年は終戦から80周年にあたります。しかし、岸田政権下でのべ43兆円にも及ぶ大軍拡路線が押し進められ、在日米軍基地はいまも存続し、「思いやり予算」は年額2110億円にも達しています。先日も宮崎や那覇の空港で米軍が投下した不発弾が発見されるなど、戦争の爪痕はいまも残されています。

私たち教職員組合の原点は「教え子を再び戦場に送らない」誓いにあります。戦前、戦中の軍国主義教育に加担し、教壇から「お国のために命をも捧げよ」と教えてしまった痛苦の反省がこの言葉には込められています。新たな戦争への懸念が現実味を帯びてきた今こそ、

小畑哲雄さんは1927年大阪生まれ。現在、97歳で「戦争の語り部」として、講演活動等で活躍されておられます。ご自身の従軍体験や「戦友」とのつらい思い出、京都での学生時代、そして淀川女子高校（現・英真学園高校）に奉職され、組合結成に至る体験と、小畑先生の人生は戦後の日本社会の反動攻勢に抗い続けてこられた民衆の歴史そのもの。私たちの大先輩であり、大阪私学の教職員組合運動を築き、けん引してこられた小畑さんのお話は、あとに続く私たちにとって大切なメッセージばかりです。

今回の組合の学校は、大阪私学退職者教職員の会（私退教）との共同開催です。長年にわたって、私学運動をリードし、支えてこられた大先輩たちとともに学び、平和と民主主義、組合の役割について考えあいましょう。



主催：大阪私学教職員組合・大阪私学退職者教職員の会

問合せ先：大私教 06-6763-3201